

つくばみらい 相談事例

スライサーによるケガ

★スライサーを買おうと思っています。使用時にケガが多いと聞きましたが、注意する点があれば教えてください。

野菜をスライスする際に便利なスライサーですが、手指をケガしたという事故が後を絶ちません。

スライサーでのケガは、**指先などをそぎ落とす**ことになるため、包丁によるケガよりも重症になりやすく、治りにくいとされています。**治療に一カ月**を要した事故や、中には**児童が受傷**した例もあります。

使用中のケガを防ぐためには、野菜を保持する「**野菜ホルダー**」や「**指ガード**」などの**補助具の使用が有効**です。野菜の種類や大きさに合ったものを選択し、取扱説明書に従って正しく使用してください。

補助具がない場合は、無理してスライスをし続けず、**野菜が小さくなったら包丁を使う**ようにしましょう。

刃の手前のプレートの**たわみが大きい商品**は、思っている以上に野菜が早く小さくなり、**手指が刃に近づきやすくなる**ので危険です。**スライス中はスライサーから目を離さない**ことが大切です。